



十 小 だ よ り

令和8年1月8日

第9号

府中市立府中第十小学校

令和8年を幸せな年と感じられるように

校長 草刈 あずさ

新年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

府中十小の令和8年1月は、学習発表会に向けた取組で始まります。12月から練習が始まり、冬休みを挟んで1月から練習を再開します。学芸会ではなく、学習発表会ですので、各学年の学習内容などを基に、セリフや歌などで表現します。1年生は1日の生活や学習の中の楽しいこと、頑張ったことなどがちりばめられています。2年生は「おたまじやくしの101ちゃん」という、よく低学年で取り組まれている劇で、協力したり助けたりすることの大切さが表現されています。3年生は理科や総合で学習した昆虫を題材に、それぞれの強みや自分らしさの素晴らしいところがテーマになっています。4年生は「窮鼠猫を噛む」という言葉で表される、弱者が強者に反撃することをモチーフに、学習の成果を発表します。5年生は「オズの魔法使い」を英語で劇にします。おなじみのストーリーで、知恵や心、勇気などがテーマです。6年生は、社会科で学習した歴史や政治を基にしたオリジナル台本で、「地球会議～未来を決めるのはきみたちだ～」のタイトルの通り、最高学年らしい主張が含まれています。

いずれも、単に歌ったり、踊ったり、発表したりするだけでなく、そこに込められたメッセージ性のあるテーマが、練習や本番で演じること、鑑賞することで、心に残ってくれるといいと思います。

1年生のように、日々の生活の中に喜びや楽しさを見付けられること

2年生のように、困っている人に手を差し伸べられること

3年生のように、自分らしさを大切にできること

4年生のように、仲間と協力して困難を乗り越えること

5年生のように、自分の知恵、気持ち、勇気に気付き、生かせること

6年生のように、他者と協働しながら、自分や社会の未来をつくるいくこと

などの姿は、日常的に子どもたち、そして大人たちの生活の中にあります。幸せを感じられるのは、それを実感した時ではないでしょうか。しかしながら、日々の生活の忙しさの中で、立ち止まり、振り返る時間をとることが難しいため、それぞれの学年がとりあげたテーマのようなことを、考えたり感じたりすることができていないことがあります。

学習発表会は、どの学年の発表も素晴らしいテーマがあります。内容と表現を楽しむだけでなく、テーマを心に留め、たまに自分の生活と結び付けることで、きっと幸せを感じることができます。保護者の皆様には、お子さんから学校生活の様子などを聞く際には、共感した上で、「楽しかったね」「助けてくれる友達に感謝だね」「それでいいんだよ」「お友達とそんなことができたんだね」「人に優しくできたね」「いい考えだね」など価値付け、励ましてあげてほしいと思います。